

川時代の歴史的意義を全国に向けて発信するとともに、清水ウォーターフロントの賑わい創出や海洋文化拠点づくりへの活動を本格化させました。

清水港については、最適な物流拠点港としてのポートセールスなどに積極的に取り組みました。また、当会議所等の客船誘致活動により、年間で延べ14隻の大型客船が寄港して大きな経済効果を生みました。

「家康公四百年祭」は、4月16日の「平成の徳川家臣団」大会 in 駿府」、6月19日の「朝鮮通信使シンポジウム」、夏休み期間には県内の小学生を対象とした「徳川記念財団作文コンクール」。9月24日の「表千家家元による記念献茶式」、9月25日の「国際シンポジウム」など、数多くの事業を実施しました。

当会議所が事務局を務めた徳川家康公顕彰四百年記念事業推進委員会が後援した四百年祭関連事業は、プレ事業も含めて約500件にのぼり、また商品やチラシなどのシンボルマークの使用申請も440件を超えるなど、四百年祭が全国に大きな広がりを見せました。

歴史・文化遺産の「再発見」と「学び」による観光振興をテーマに「全国商工会議所観光振興大会 2015 in しずおか」を11月12日から14日にグランシップをメイン会場に開催しました。全国の約200の商工会議所か

ら1,500名以上が参加、徳川家康公顕彰四百年記念事業と世界文化遺産「富士山」を切り口に、「分科会」、「全体交流会」、「全体会議」、「エクスカーション」を通じ、静岡県観光振興策について全国に発信しました。なお、本観光振興大会開催による静岡県への経済波及効果は1億6,400万円と試算されました。

加えて、公衆無線LANの整備やフィルムコミッション事業によるロケ誘致、「静岡伝統芸能振興会」の運営など、交流人口拡大に向けて取り組みました。



・12回目となる全国商工会議所観光振興大会を静岡市で初開催し、関係者1,500人以上が参加しました。

3. 基盤づくり  
～会員満足度の向上と  
組織・財政基盤の強化～

第2次中期行動計画に基づき、P

静岡商工会議所 平成27年度収支決算

一 般 会 計			
◆収入の部 (単位：千円)		◆支出の部 (単位：千円)	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1. 会 費	182,568	1. 事 業 費	361,849
2. 事 業 収 入	304,602	1) 一般事業費	251,616
3. 交 付 入 金	114,474	2) 委託事業費	110,233
4. 雑 収 入 金	39,071	2. 管 理 費	215,991
5. 繰 越 入 金	4,926	3. 繰 出 金	36,275
6. 繰 越 金	142,869	支 出 計	614,115
合 計	788,510	収支剰余金	174,395
		合 計	788,510

< 決 算 規 模 >

- 一般会計 ..... 788,510千円
- 法定台帳関係費特別会計 ..... 13,785千円
- 小規模事業経営支援事業費特別会計 ..... 241,759千円
- 会館運営特別会計 ..... 77,746千円
- 特定退職金共済制度特別会計 ..... 1,463,749千円
- 静岡県中小企業再生支援事業 ..... 129,528千円
- 中小企業再生支援協議会・抜本再生加速事業 ..... 24,733千円
- 静岡県経営改善支援センター事業 ..... 149,116千円
- 静岡県事業引継ぎ支援センター事業 ..... 55,882千円
- 静岡県よろず支援拠点事業 ..... 53,089千円
- 静岡市清水産業・情報プラザ指定管理事業 ..... 79,736千円
- 退職給与資金特別会計 ..... 286,991千円
- 労働保険料特別会計 ..... 288,461千円

平成27年度収支決算合計 3,653,085千円

DC Aサイクルによる事業の進捗管理を行い、組織・財政基盤の強化を図りました。

13,000会員の堅持を目標に商工会議所活動の基盤となる会員増強活動を推進し、会員数を実増することができました。また、経営に関する相談をはじめ、会員事業所への相談窓口」を運営し、会員の満足度の向上に努めました。平成28年1月に開催した「新春会員の集い」は1,300名を超える参加者で賑わいました。



・新春会員の集いには、会社役員や従業員のほか、ご家族の皆様にも広くご参加いただきました。